

函館支部が「健康相談会」

8会場 11人から23件の相談/無料健診の希望が10件

函館支部は1月5日から9日まで、道南地域の8会場で「健康相談会」を開きました。相談会には7人が来たほか事務所で相談を受けた4人をふくめ11人から23件(じん肺・5件/アスベスト・3件/振動障害・8件/騒音性難聴・7件=1人で複数の相談あり)でした。この中で、「無料健診」を希望したのが、じん肺・3件/アスベスト・2件/振動障害・5件で、さらに6件ほど増える可能性があります。難聴の検査も7人が希望しています。相談会をおこなった3日間の移動距離の合計は670kmにもなり、今年は道南地方は雪が多くて苦労しながら各地を回りました。函館支部は2月1～4日にも函館市・北斗市の5会場で「健康相談会」をおこないます。

2～4月に釧路・旭川・後志・苫小牧・千歳・美幌でも

釧路支部は2月10日から3月11日にかけて白糠町・釧路市・中標津町で「建退共・職業病相談会」をおこないます。旭川支部は昨年に引き続き、3月4日から4月8日にかけて旭川市・富良野市・名寄市・留萌市で「建退共・職業病相談会」、後志労災支部は3月17日に余市町と小樽市で「健康相談会」を予定しています。苫小牧(3月10日)・千歳(3月11日)・美幌(3月17～18日)の相談会は道本部労災職業病部会が援助して準備しています。

11～12月の新規認定22件

道本部労災職業病部会は、昨年11～12月の新規認定のとりくみについてまとめました。新規認定の件数は22件(振動障害・10/じん肺・2/じん肺遺族補償・3/アスベスト・1/騒音性難聴・6)です。また、労災申請などの要求で13人が建交労に加入しました。

小樽一般の2つの支部で5人が加入

昨年12月に、小樽一般労組カイゲンファーマ支部で組合員が2人増えました。今年になって、光合金支部でも3人の組合員を迎えました。3人とも昨年入社した若い労働者で、春闘に向けて新しい力が加わりました。

今年最初の「すべての争議解決・1の日」行動

1月9日、今年最初の「すべての争議解決・1の日行動」がおこなわれ40人が参加しました。自交総連から行政訴訟など4つのたたかいが報告され、医労連がKKR札幌医療センターの新人看護師「過労自死」の労災不支給取り消し訴訟への支援を訴えました。福祉保育からは文書で、明啓院の不当労働行為とのたたかいとつばさ保育園の不当解雇撤回のたたかいの報告がされ、改憲と「働かせ改悪」を許さず、争議の勝利解決をめざして「団結がんばろう」で行動をしめくりました。